



2026年  
6月3日  
No.A26-02

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2026年5月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

・5月12日(火)、エミン・ユルマズ レディー  
バードキャピタル代表「米中新冷戦がもたらす  
日本経済と市場の変化」(於：オークラ東京)

#### <要旨>

最新のデータを駆使しつつ、日米の株価の変  
動サイクルや世界の地政学的変化、米中対立を  
踏まえ、今後の日本経済の行方を占った。



#### (2) 中東情勢講演会

・5月20日(水)、中東情勢講演会(武田善憲・  
中東第一課長「最近の中東情勢」)(於：日本記  
者クラブ会場)

#### <要旨>

武田課長からは、近年の国際情勢や外交の趨  
勢、ガザ問題・中東和平への日本の取り組み等  
について、詳細な説明があった。また、出席者  
との間で30分以上にわたって質疑応答が行わ  
れた。



#### (3) 中東情勢分析発表会

・5月15日(金)、研究主幹 斎藤正道「点から  
線へ——イラン情勢と地域秩序の現在地」(Zoom  
形式)

#### <要旨>

発表会是对談方式で行われ、イランの国内情  
勢、湾岸情勢、米・中との関係について網羅的  
な解説が行われた。

### 2. 中東調査会の活動

#### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2026年5月号(2026年6月3日付)
- 1. アフガニスタン:ターリバーン政権とロシア、  
軍事協力について合意か
- 2. イラン:ガーリーバーフ国会議長が「中国問  
題特使」に任命
- 3. イラク:ヒズブッラー部隊幹部の逮捕とヨー  
ロッパでの攻撃事件
- 4. トルコ:アルメニアとの直接貿易申告に関す  
る制限を解除
- 5. イスラエル:極右政党が6カ月ぶりに阻止条

項を上回る見通し

- 6. リビア：国内最大の製油所ラス・ラーヌーフがNOCの管理下へ
- 7. エジプト：食料安全保障と穀物貯蔵の地域ハブ化構想

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

(2) 中東かわら版の発行

- No.15 「[モロッコ：ポリサリオ戦線がスマーラを攻撃](#)」(主任研究員 平寛多朗、5月11日)
- No.16 「[シリア：大統領官房長官、情報相、農業相の交代](#)」(特任研究員 高岡豊、5月12日)
- No.17 「[リビア：国内最大規模の石油精製所が、武力衝突で操業停止](#)」(主任研究員 平寛多朗、5月12日)
- No.18 「[イスラエル：キリスト像破壊、聖母マリアの喫煙、メシアのワッペンで兵士が処罰される](#)」(主任研究員 平寛多朗、5月18日)
- No.19 「[イラク：ザイディー内閣が発足](#)」(特任研究員 高岡豊、5月19日)
- No.20 「[パレスチナ：ファタハ中央委員会選挙でアッバース大統領の息子が躍進](#)」(主任研究員 平寛多朗、5月19日)
- No.21 「[イラン：モジタバ最高指導者、濃縮ウランの国外搬出に反対か](#)」(研究主幹 斎藤正道、5月22日)
- No.22 「[チュニジア：軍は中立性を維持すると国防省が声明](#)」(主任研究員 平寛多朗、5月25日)
- No.23 「[イラン：ガーリーバフ国会議長を团长とする高官団がカタルを訪問](#)」(研究主幹 斎藤正道、5月26日)
- No.24 「[イスラエル：超正統派徴兵法案をめぐる高まるクネセト解散圧力](#)」(主任研究員 平寛多朗、5月26日)

- No.25 「[イラン：米軍がイラン南部バンダルアッバースにある地上管制センターを攻撃](#)」(研究主幹 斎藤正道、5月28日)

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) その他の活動

- 東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく A/中東を理解するキーワード」へ当会研究員が出講した。
- ④「宗教」(特任研究員 高岡豊、5月13日)
- ⑤「世俗化」(上席研究員 金子真夕、5月20日)
- ⑥「ナショナリズム」(主任研究員 平寛多朗、5月27日)

### 3. その他

(1) 要人往来

- 2日、茂木外相は、イランのアラーグチー外相と電話会談を行った。
- 8日、茂木外相は、モロッコのブリタ外相とテレビ会談を行った。
- 18日、訪日中のソンダース国連パレスチナ難民救済事業機関事務局長代理が国光副外相を表敬した。
- 21日、訪日中のリビアのアブーバクル・ラーフィア国防省次官補が大西外務政務官を表敬した。
- 22日、茂木外相は、イランのアラーグチー外相と電話会談を行った。
- 28日、茂木外相は、カタルのムハンマド・ビン・アブドルラフマン首相兼外相と電話会談を行った。

### 4. 6月の予定

- 6月11日(木)、14:00~15:30、中東情勢オンライン講演会(登利谷正人 東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授「中東・南アジア境域の水資源をめぐる問題と地域動態—パキスタンの対イラン・アフガニスタン政

策を中心にー」)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

## 5. 出版物刊行のご案内

- ・5月31日(日)、『中東研究』第556号(2026年度 Vol. I、定価：本体2000円+税)が発行されました。

本号は「中東と水問題」と題する特集を組み、第中東における環境課題の優先分野、マグリブ三国における水資源管理、アフガニスタン・ターリバーン暫定政権下における水資源の現状と問題、イラン・フーゼスタン州における水問題をめぐる抗議運動、ヨルダンの水問題と水政策に関する論文を掲載しました。

このほか、「最近の動向」では、レバノン・ヒズブッラーの武装解除問題、2025年12月末からのイランにおける抗議活動、エネルギーをめぐるアルジェリア・フランス関係について分析した論文を所収しております。是非お手にとってご覧いただければ幸いです。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。